

# 日本農業遺産認定後の活動状況（令和5年度）

## 普及・啓発活動

地域住民の理解向上



シンポジウムの開催

出前講座

地域内外の認知度向上



各地域のイベントへの出展

ロゴマークを活用したPR



ロゴマークの作成

販売PR

- シンポジウムの開催や、地域が主催する出前講座により、農業遺産の価値の理解促進を図りました。

### 【参加者数】

シンポジウム	96人
出前講座	330人（11回開催）

- 農業遺産認定内容のパネル展示やクイズにより、イベント参加者に対する農業遺産の認知度向上を図りました。

### 【参加者数】

イベント	5回	278名参加
------	----	--------

- 東稲山麓地域の認知度向上、イメージアップ、ブランド化を目的にロゴマークを作成し、イベント等における販売促進において、PRを図りました。

### 【応募者数】

137名
------

## 地域活性化活動

地域交流



（農）アグリ平泉によるライス・アート稲刈りイベント

特産品販売



東稲山麓地域3市町物産販売促進委員会による特産品販売会

意見交換会



赤生津地域活性化協議会主催による意見交換会の開催

保全活動



いわて生協等森林保全ボランティアの活動

- 日本農業遺産への認定を契機として、生母生産森林組合がいわて生協と「コープの森まえさわ生母の森づくり活動」として再契約を締結しました。

# 日本農業遺産保全計画・進捗状況（令和5年度）

- 日本農業遺産認定1年目は、シンポジウムの開催や出前講座への出張、地域が行うイベントにおける周知等を通じて、東稲山麓地域の農業遺産としての価値の理解促進に努めてきました。
- 各地域においても、生母生産森林組合が、いわて生協と「コープの森まえさわ生母の森づくり活動」として契約締結を行うなど、継続的な保全活動を行っています。

## I 食料及び生計の保障

### 〔取組内容〕

- ・新規就農者の確保・育成
- ・地域営農組織の育成

指標	現状	目標 (R9)	実績 (R5)
中心経営体経営面積	936ha	1,005ha	948ha

## II 農業生物多様性

### 〔取組内容〕

- ・環境保全に向けた農地や森林の適正な維持管理
- ・多様な主体の参画による保全活動の推進

指標	現状	目標 (R9)	実績 (R5)
森林経営計画認定面積	821ha	821ha	688ha
集落協定取組面積	802ha	802ha	796ha
保全活動連携企業等数	2社	6社	1社

## III 地域の伝統的な知識システム

### 〔取組内容〕

- ・知識システムの継承に向けた体制整備と地域住民への理解促進
- ・国内外の地域との交流・情報提供

指標	現状	目標 (R9)	実績 (R5)
講習会受講者数	—	50人	330人
シンポジウム等開催数	年1回	年3回	年6回
視察受入数	—	10件	1件

## IV ランドスケープ及びシースケープの特徴

### 〔取組内容〕

- ・生産森林組合等の活動活性化による森林の保全
- ・ボランティアや企業の支援による棚田保全システムの構築

指標	現状	目標 (R9)	実績 (R5)
森林保全活動連携企業数	1社	3社	1社
ボランティア人数	—	100人	0人

## V 多様な主体の参画

### 〔取組内容〕

- ・企業が地域活動に参加しやすい仕組みの構築
- ・メディア等と連携した情報発信による知名度向上

指標	現状	目標 (R9)	実績 (R5)
地域活動連携企業数	2社	6社	1社
情報発信回数	—	20回	1回



シンポジウムの開催



コープの森ボランティア活動